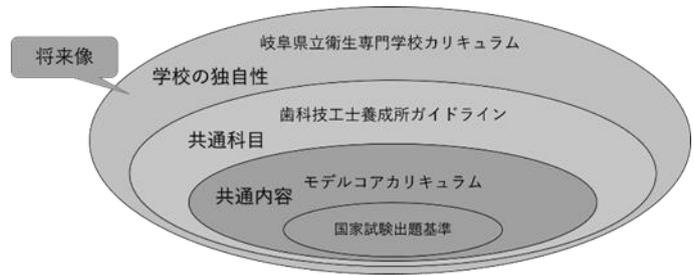


I 歯科技工学科の学び

1 歯科技工士教育

歯科技工士の教育は、図のように4つの基準によって定められている
本校の理念・目的に基づいて学校の独自性が定められている

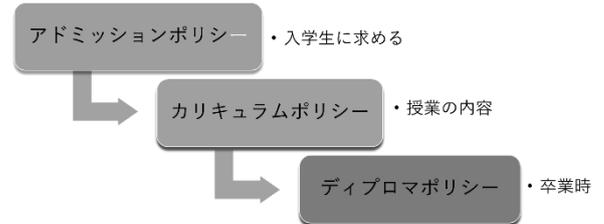


2 3つのポリシー

学校の独自性は、3つのポリシーによって定められている。

- ・アドミッションポリシー
- ・カリキュラムポリシー
- ・ディプロマポリシー

2年間どの科目をどのような内容で、いつ学ぶかを定めている



3 科目の理解

学ぶ科目は、基礎科目、専門基礎科目、専門科目に分けられている

本校が目指す歯科技工士に必要な学習内容が準備されている (P2を参照)

基礎科目の外国語、倫理学、医学と社会学など関わりが解りにくいのが、必要と考

また、学内研修として授業科目以外に必要な学習をする機会がある

4 単位制

本校は、単位制となり卒業までに65単位すべてを習得する必要がある

1単位は45時間で学べる学習内容として計画されている

学科目の授業時間は、15~30時間、実習は30~45時間となっている

45時間に満たない時間は、予習・復習またはレポート作成など家庭学習の時間となる

5 受講姿勢

授業開始直後から専門科目が始まるため、専門用語など日常的に使用される

復習など行い、その日の授業内容を理解しながら進めることが重要である

専門学校は、高等学校までと異なり高等教育のため自ら学習することを基本としている
授業の理解、疑問の解消などは試験のための学習でなく、医療に必要な「知識」として学ぶ

実習は、基本的に校内で行なうが、基礎技術の反復習得は「技術」の向上に必要である
医療技術者として求められる「態度・姿勢」の学習も非常に大切である

合わせて在学中に「社会人基礎力」の習得に取り組みましょう

6 目的と目標

2年間で本校の目指す歯科技工士に向けて必要な「知識」、「技術」、「態度・姿勢」を学ぶ
これらを計画的に学習できるよう取り組みましょう

- ・歯科技工士教育：試験や実習物の完成と学習の深度や技術力の向上など短期・中期の学習
- ・キャリア教育：卒業後の長期計画に必要な学習

Ⅱ 授業科目および時間数

科 目		講義		実習		第一学年				第二学年					
		単位数	時間数	単位数	時間数	講義		実習		講義		実習			
						単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数		
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活	外国語Ⅰ	1	15			1	15							
		外国語Ⅱ	1	15						1	15				
		造形美術	1	30			1	30							
		情報リテラシー	1	30						1	30				
		コミュニケーション論	1	15			1	15							
		倫理学	1	15			1	15							
		医療と社会学	1	15			1	15							
		経営学	1	15							1	15			
小 計		8	150			5	90			3	60				
専門基礎分野	歯科技工と歯科医療	歯科技工学概論	1	15			1	15							
		歯科技工に関わる基礎歯学	1	15						1	15				
		関係法規	1	15						1	15				
	歯・口腔の構造と機能	歯と口腔の組織・解剖学	1	30			1	30							
		歯と歯列の解剖学	1	30			1	30							
		歯冠形態表現Ⅰ			1	45			1	45					
		歯冠形態表現Ⅱ			1	45			1	45					
		歯冠形態表現Ⅲ			1	45						1	45		
		顎口腔機能学	1	30							1	30			
	歯科材料・歯科技工器械と加工技術	顎口腔機能学実習			1	45							1	45	
		材料・器械工学Ⅰ	1	30			1	30							
		材料・器械工学Ⅱ	1	30			1	30							
		材料・器械工学Ⅲ	1	30							1	30			
		材料・器械工学Ⅳ	1	30							1	30			
		材料・器械工学実習Ⅰ			1	45			1	45					
		材料・器械工学実習Ⅱ			1	30							1	30	
	加工技術基礎	1	30			1	30								
	小 計		11	285	6	255	6	165	3	135	5	120	3	120	
	専門分野	有床義歯技工学	全部床義歯技工学概論	1	30			1	30						
			全部床義歯技工学各論	1	30			1	30						
無歯顎の印象採得に関わる歯科技工					1	45			1	45					
無歯顎の完成義歯に関わる歯科技工					2	90			2	90					
義歯の安定に関わる基本技術					1	45							1	45	
部分床義歯技工学概論			2	60			2	60							
部分床義歯技工学各論			1	30			1	30							
部分欠損の印象採得に関わる歯科技工					1	45			1	45					
部分欠損の完成義歯に関わる歯科技工				2	90			2	90						
歯冠修復技工学		歯冠修復技工学概論	1	30			1	30							
		歯冠修復技工学各論Ⅰ	1	30			1	30							
		歯冠修復技工学各論Ⅱ	1	30			1	30							
		被覆冠に関わる歯科技工			1	45			1	45					
		テンポラリークラウンに関わる歯科技工			1	30			1	30					
		部分修復に関わる歯科技工			1	45			1	45					
		前装冠に関わる歯科技工			1	45			1	45					
		原型製作技術			1	30			1	30					
		連続する修復に関わる歯科技工			1	45			1	45					
		ブリッジに関わる歯科技工			2	90			2	90					
矯正歯科技工学		セラミックスに関わる歯科技工			1	45							1	45	
		デジタル技工に関わる歯科技工			1	30							1	30	
		矯正歯科技工学	1	30							1	30			
		矯正歯科に関わる歯科技工			1	30							1	30	
小児歯科技工学		小児歯科技工学	1	15			1	15							
		小児歯科に関わる歯科技工			1	30			1	30					
歯科技工実習		全部床義歯に関わる歯科技工			1	45							1	45	
		咬合採得に関わる歯科技工			1	45							1	45	
		部分床義歯に関わる歯科技工Ⅰ			1	45							1	45	
		部分床義歯に関わる歯科技工Ⅱ			1	45							1	45	
		金属床義歯に関わる歯科技工			1	45							1	45	
	支台築造に関わる歯科技工			1	45							1	45		
	歯冠修復に関わる歯科技工Ⅰ			1	45							1	45		
	歯冠修復に関わる歯科技工Ⅱ			1	45							1	45		
	審美性を考慮したブリッジに関わる歯科技工			1	45							1	45		
	審美に関わる歯科技工			1	45							1	45		
	歯科技工に関わる研究			1	30							1	30		
小 計		10	285	30	1260	9	255	15	630	1	30	15	630		
総 合 計		29	720	36	1515	20	510	18	765	9	210	18	750		

令和7年度歯科技工学科 学年暦

岐阜県立衛生専門学校

年	月	日	曜	摘 要	備 考
7	4	8	火	入学式・始業式	全校
7	4	9	水	ガイダンス	1, 2 学年
7	4	18	水	防災訓練	全校
7	4	22	火	健康診断	全校
7	7	22	火	特別講義	2 学年
7	7	25	金	夏季休業開始	全校
7	8	31	日	夏季休業終了	全校
7	9	1	月	授業開始	全校
7	9	22	月	行事	全校
7	10		水	自宅研修（特別入学試験）	全校
7	10	19	日	課外授業（ぎふ市民健康祭り）	1 学年
7	11	3	月	課外授業（岐阜県歯科医学大会）	2 学年
7	11	27	木	特別講義	2 学年
7	12	24	水	文化祭	全校
7	12	25	木	冬季休業開始	全校
8	1	7	水	冬季休業終了	全校
8	1	8	木	授業開始	全校
8	1		木	自宅研修（一般入学試験）	全校
8	2	15	日	自宅研修（歯科技工士試験）予定	1, 2 学年
8	3	3	火	卒業式	全校
8	3	24	火	終業式	1 学年
8	3	25	水	春季休業開始	全校